



号外
 民主党プレス民主編集部 民主党参議院比例区第37総支部
 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 〒822-0022
 電話03-3595-9988 (代表) 福岡県直方市知古 764-1
 press@dpj.or.jp http://www.dpj.or.jp
 ☎0949-22-0574

2008, 10
kusuo-report
 Since2007.09 Vol. 14



大島九州男
 参議院議員

現場主義！ ～国民の声を、直接受け止める～ 生活第一！



かるかんまんじゅうを試食しながら、被害の実情などを聞く大島参議議員
 【読売新聞 10/11 記事抜粋】

米偽装調査団団長として、熊本・鹿児島へ

大島九州男を団長とする「民主党-米偽装調査団」が、事故米の流通先として農水省から店名を公表されたため、風評被害に悩んでいる鹿児島県・熊本県の菓子店を訪ね、店主・経営者らに現状などを聞き取り調査しました。

店主からは「店名だけを公表されたので、すべての菓子に事故米を使ったと誤解された」「取引先を信頼して原料を買った被害者なのに、加害者と誤解する消費者もいる」など、農水省が事情を考慮せずに、店名だけを公表したことにより、

消費者の不信感が増大した苦境を訴え、長年かけて築いてきた信用を失った無念さを語られていました。

調査団は、長年まじめに菓子づくりをしてきた人たちが、風評被害に泣くことは、断じて許されない。まして、三笠フーズに96回も立ち入り検査をしながら、不正が見抜けなかった農水省の対応と責任を追求していき、国会で被害者の方たちの救済や事故米管理の在り方について、全力で取り組んでいく考えを示しました。

政治には、国民生活を肌で感じ取り、敏感に・迅速に対応するスピード感が重要です。大島九州男は、まず現場に入り、皆様と対話することから始め生の声を直接聞き受け止め、国民の目線で生活を第一に考え、国政に政策に反映できるよう、日々東奔西走しています。

民主党 最重要政策 日本型セーフティネットの構築

1. 全ての国民が安定した生活を送れる仕組み

1. 確実・公正な「信じられる年金」の確立

- ・「消えた年金記録」は国が総力を挙げて正しい記録に直し被害を救済する
- ・「年金通帳」を全加入者に交付して、記録が消えないシステムに改める
- ・すべての年金制度を一元化をし、年金の基礎(最低保証)部分は税で賄う

2. 誰もがいつでもサービスを受けられる医療・介護の確立

- ・後期高齢者医療制度は廃止し、医療制度を一元化する
- ・「医療確保制度」を創設して、医療現場の崩壊を防ぐ

2. 安心して子育てと教育ができる仕組み

- ・子ども1人当たり月額2万6000円の「子ども手当」を支給する
- ・高校の授業料の無料化をすすめ、大学などの奨学金制度を拡充する

3. まじめに働く人が報われる雇用の仕組み

- ・国としてあらゆる手だてを講じて「働く貧困層」の解消に取り組む
- ・中小企業を財政的に支援したうえ、最低賃金の引き上げを進める
- ・パートや契約社員を正規社員と均等待遇にする
- ・働く意欲のある限り、生涯働ける制度を確立する

4. 地域社会を守り再生させる仕組み

1. 地域社会を守り再生させる仕組み

- ・農業者への「戸別所得補償制度」を創設し、農業経営を安定させる
- ・漁業についても、同様の所得補償制度の創設を検討する
- ・安全な食料を国内で安定供給し、食料自給率を高める
- ・森林・林業への自立支援を進め、100万人を目標に雇用を拡大する

2. 中小企業の再生

- ・「中小企業憲章」を定め、国がタテ割り行政を超えて総合的に支援する
- ・地場産業の中小企業に対し税制面で研究開発や地域資源活用を支援

5. 国民の生活コストを安くする仕組み

- ・全国的高速道路を無料化し、物流コストを引き下げる
- ・ガソリン、軽油の暫定税率を廃止し、増税分を国民に還元する
- ・国のプロジェクトとして石油・ガス、資源確保に取り組む



領土問題の解決に寄与をすることを目的として平成4年から行われています。

その後、交流の一層の拡大を図るために、平成7年からは国会議員も参加できるようになりました。今回この訪問事業に参加し、択捉島へ渡りました。この地は、1企業のみ依存して社会基盤整備が遅れている、昔の炭鉱の町のような感じを受けました。

今後も、次世代につながる交流を続けてほしいものです。

北方四島訪問事業への参加



北方領土への訪問事業は、平成3年にゴルバチョフ大統領が来日時に、当時のソ連から提案され、日ソで合意された日本国民と北方四島在住ロシア人との間の旅券・査証なしで行う交流に基づき、相互理解を深め